

回 覧

しばたまち交流ひろば

ゆる。ぷら倶楽部

2014.10.1 ニュースレター第51号

体験会レポート!

『カルトナーージュ』9月5日実施



厚紙を組み立てて布や紙を貼る厚紙工作のカルトナーージュ



それぞれが違った雰囲気の箱が完成!



参加者の方から「興味はあったものの以前は作り方がわからず無理でした。今回体験してみて、またチャレンジしようと思います。布合わせも楽しみたいです」との感想!



体験会レポート!

『陶芸』9月7日【1回目:成形】

※この後、仕上げ・釉掛けの工程がありますので、報告はまた後日!



皆さんプロ顔負けの真剣な表情!



気さくで優しい講師の太田さんご夫妻



難しいところは先生がフォローしてくれるので安心です。



はい!

頑張っちゃ♪

皆を優しく見守るメイちゃん



9月のギャラリー展示の様子

◎カルトナーージュ展 (9月2日～9月14日)



草花やアンティーク柄を中心とした、小物が収納できて実用的な布箱約50作品を展示。

ソーイングBOX、時計、写真立てやミニチュアハウスなど、来館者の方々は興味深そうに見ていました

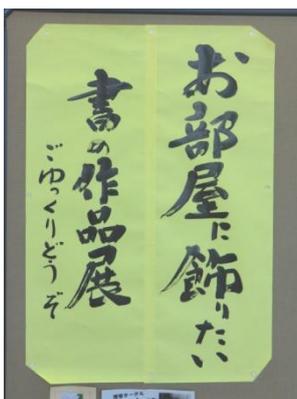


制作者「小鳥の森」大津千鶴子さんより

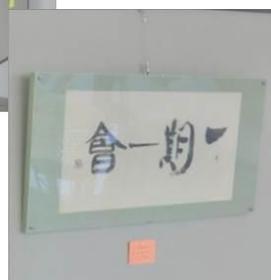
初めての作品展でカルトナーージュという手芸を知った方がほとんどでした。

これから親子で楽しむ家づくり、幅広い年代の方に作る楽しさを伝えられるよう活動していきたいです。

◎現代書道研究会 お部屋に飾りたい書の作品展 (9月15日～9月28日)



思わずハッとする言葉や、ほっとするような文字の形が見ている人を癒しているようでした。



現代書道研究会 村上さんより

歴史あるすばらしい書の文化にひかれ、仲間とともに励む喜び、やすらぎなど心の豊かさを日々感じております。

書の基本を学習しながら好きな言葉や俳句・短歌などを作品にします。

また彩り豊かな表装も楽しめる一つです。

地域づくり支援員レポート

まちづくり推進センター（ゆる.ぷら）を拠点に地域支援活動をしている「地域づくり支援員」。その地域づくり支援員からの巡回レポートです。

東日本大震災という突然の大災害の発生、近年では、“ゲリラ豪雨”と呼ばれる局地的大雨による洪水や土砂崩れが毎年のように全国各地で発生するなど、天災はいつ起こるのかわりません。災害は起きてほしくはありませんが、災害が発生した場合にどのように行動するか、何を備えておくか、日頃から確認しておくことが大切です。

今回は、地域における防災への取り組みを紹介します。防災訓練を実施している地域は年々増加していますが、今回は第17B区・第29C区の取り組みについて紹介します。

【災害に備えて防災訓練の実施！】

1. 第17B区 平成26年7月20日（日）

松ヶ越2号公園が避難集合場所・訓練会場でしたが、前日からの雨の影響により、第17B区集会所に会場が変更となりました。

訓練には、子どもから最高81歳の方まで、総勢74名の参加がありました。防災訓練の指導役として、柴田消防署からは木村署長他3名、町からは総務課小玉危機管理監にお越しいただきました。

訓練は、当初の屋外での実施内容から変更し、消火器の取扱い方法、三角巾利用のけが人に対する応急処置、けが人を緊急搬送する際に使用する応急担架の作成や搬送法、AED（自動体外式除細動器）の操作手順について説明指導が行われました。

口頭による指導だけでなく、参加者が実際に体験しながら訓練を受け、皆さんは少々戸惑いながらも、熱心に取り組んでいました。また、会場には組み立て式簡易トイレ（テント遮蔽式）の展示のほか災害時備品も公開され、臨場感があふれていました。

17B区の防災訓練は、雨天のため会場変更となりましたが、そのような突然の出来事も訓練ととらえ、杉浦区長はじめ地区役員の方々の熱意が浸透し、住民の皆さんの防災意識が高まったのではないかと感じられました。



けが人に対する応急処置の指導



毛布を利用して応急担架を作成

2. 第29C区 平成26年5月11日（日）

第29C区町内会自主防災訓練は、綿密に計画が立てられ、周知活動もしっかり行われており、また、これまでも長年訓練が行われてきたこともあり、午前9時のサイレンを合図に区民の皆さんは迅速に、整然と行動を開始していました。

まず、1次避難場所へ班旗の下に集合し、人数を把握、統括責任者に報告後、2次避難場所（西船迫小学校校庭）へ、統括責任者が誘導しながら避難をしました。

避難区民268名、実行委員や消防団等の関係者が89名、総数357名の参加で訓練が行われました。訓練には、柴田町、柴田交番、柴田消防署、柴田婦人防火クラブ連合会、柴田町交通指導隊からも指導役として参加をいただき、かなり大規模なものとなりました。

訓練内容としては、煙中通過訓練、水消火器訓練、バケツリレー消火訓練、AED取扱訓練、応急担架組立て訓練と4コースで体験を行いました。また、婦人防火クラブによる炊出し訓練も併せて行いました。大規模な訓練を混乱も無く、スムーズに実施できた理由として、滝澤町内会長はじめ地区役員の皆さんの周到な準備、そして東日本大震災を機とした区民の皆さんの防災意識の高さを感じました。

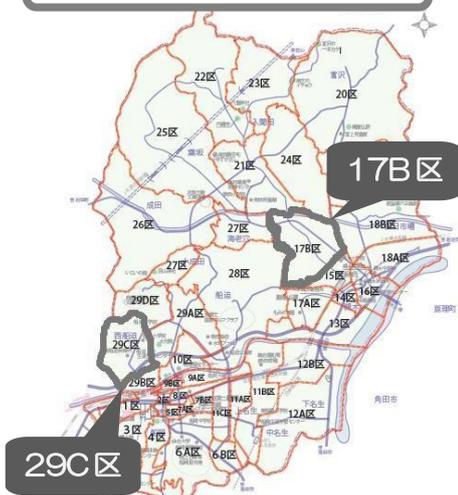


消防署の協力に煙中通過訓練



協力しあってバケツリレー

今回紹介した行政区



東日本大震災の経験から、大規模災害の時には役場、消防、警察、病院なども被災していたり、それぞれ緊急対応に追われていて、各地域への十分な支援がすぐには難しいということが分かりました。同時に、個人・各家庭や地域での日頃からの備え、住民同士の協力が何より大切だということも学びました。

大震災から3年半が経過した今、もう一度各家庭や地域で防災について考えてみてはいかがでしょうか。

ナイス Smile(笑顔)賞



各分野で一生懸命活動されている方、頑張っている方などにお話を聞き、その笑顔を広めていくナイス Smile (笑顔)賞。今回は開催目の「第2回しばた匠まつり」実行委員を務める小原和子さんを紹介します。

小原 和子さん(9A区)



——今年で2回目の匠まつり、準備はいかがですか？

いよいよ10月4日・5日に開催が迫り、準備も大詰めです。しばた匠まつりは、手仕事によるものづくりの職人が集まり、自ら作品の展示・販売をするクラフト・フェアです。

今年は前を上回る60店の工人(ものづくり職人)の皆さんが出店します。遠くは和歌山や愛知など関西圏からの参加も。昨年以上に県外からの参加者が増え、しばた匠まつりが認知されてきたのを感じて嬉しいです。

今年も昨年と同じく太陽の村を会場にしますが、前回の来場者6,000人を超える賑わいとなってほしいですね。

——匠まつりの魅力とはなんでしょう？

工人の方とお客さんとが直接会話することが出来、手仕事の品をじかに見られるところですね。60店のうち一つとして同じものを出す店はありません。どうか沢山の工人の皆さんと触れ合ってほしいです。1日中いても決してあきない面白さがあります。

——今回の匠まつりの特色とは？

第1回目の同イベントは、柴田町まちづくり提案制度を活用して、町の協力を得ながら開催しました。でも今回からは自力での開催となります。前回で得たノウハウや反省を活かしつつ、長く愛され続けるイベントにするための試金石ですね。



パンフレットの印刷など、仕事は盛り沢山



実は今回、初めて頂上の太陽の広場での開催となります。昨年のやり方そのままにはいかないの、初めて開催するような気持ちで準備しています。去年よりも良い運営に努め、良い交流の場を提供することで、工人の皆さんやお客さんにリピーターになってほしいです。「おもてなし」の姿勢をどこまで追求できるかが、私たち実行委員会の勝負ですね。

全国から工人の皆さん・お客さんに来てもらい、同時に地場産のものを知ってもらう。ものづくりを通じた秋の柴田町の交流イベントとして、定着していくための踏ん張りどころです。飲食ブースにも地元から約10店舗が出店し、大人から子どもまで幅広く楽しめますよ！

第2回しばた匠まつり - 里山につどう手仕事の技

期間:平成26年10月4日(土)・5日(日) 午前9時30分～午後4時(最終日は午後3時まで)

会場:柴田町太陽の村 屋外会場(雨天決行) 問合せ:しばた匠まつり実行委員会 090-2608-1936

@しばた ふるさとCM制作の会



◆町をCM映像で紹介◆

@(アット)しばた ふるさとCM制作の会では、柴田町の魅力を紹介する商業映像の制作を目的に、6名の会員が活動しています。今年は東日本放送主催「みやぎふるさとCM大賞2014」へ、柴田町のCMとして応募することを目指しています。現在は町内に在住、あるいは仙台大学へ通う学生からなる会員たちによって、柴田町まちづくり推進センターゆる.ぷらを活動拠点に、町内各地で撮影活動中です。



◆力を合わせた作品づくり◆

昨年度公募により集まった制作委員が、2013年度の制作を終了した後も活動を継続し、新たなメンバーを加える形で同会は成立しました。同会では、仙台大学に通う学生・町内在住の社会人・動画制作の職につくプロなど、少人数ながら幅広い人材が活動しています。平均年齢が20代半ばと、若い力が町の魅力発信のために集結している点も特徴の一つです。

会議では様々なアイデアが議論されます。

それぞれが仕事や学業の空き時間をやりくりし、良いCMづくりのために昼夜を問わず撮影に出かけ、インターネットを駆使した制作会議を行うなど精力的に活動しています。

制作するCM自体については、町内の豊かな自然を映像に収めていくとともに、町内企業や各官公庁施設、学校やスポーツ団体など、多くの施設や町民の皆さんと協力をしながら制作しています。

◆みやぎふるさとCM大賞受賞を目指して◆

今年の活動成果となるふるさとCM映像は、10月末に出品のうえ、12月に仙台市青年文化センターにて審査を受けます。その模様は年明けのお正月期間中に、地上波放送がされる予定です。ぜひ大賞を、と皆意気込んでいます。また柴田町のイベント等でも随時放映するなど、ふるさとの魅力PRに貢献していければと考えています。



町内企業の協力を得て社内を撮影

真夏の暑さがなんとなく懐かしいこの頃、朝晩は空気がひんやりして、いよいよ本格的な秋です。

秋の味覚、新米・サンマ・梨・栗・芋煮など美味しい食べ物が楽しめますね！

美味しくてつつい食べ過ぎてしまいそうですが、適度な運動で体調に十分気を付けましょう！

ゆる.ぷらスタッフより

(お問合せ先)

■しばたまち交流ひろば ゆる.ぷら
(イオンタウン柴田内)

電話 86-3631 FAX 86-3641

eメール yurupura@town.shibata.miyagi.jp

開館時間 10:00~18:00

<10月の休館日:6日、14日、20日、27日>

■柴田町まちづくり政策課

電話 54-2111 FAX 55-4172

